

# しるちどり *vol.25*

三重県看護連盟だより

平成29年7月20日 第25号



*contents*

- ごあいさつ 01
- 研修会報告 03
- 三重県看護連盟通常総会報告 06
- 三重県看護連盟活動計画 07
- 日本看護連盟通常総会報告 08
- 会議報告 09
- ペンリレー・支部長交代・菓子博紹介 10
- 研修予定・編集後記 11



標高961m(西峰)、鈴鹿・亀山の両市と滋賀県甲賀市の境にあり、美しい展望が広がる仙ヶ岳の東峰山頂に立つ奇岩・仙の石。下の写真は、標高1212mの御在所岳山まで結ぶロープウェイ。春はツツジ、夏は納涼と赤とんぼ、秋は紅葉が楽しめる。



## 三重県看護連盟会長 西川利恵



真夏のような、日差しがまぶしい季節となりました。皆様にはご清祥の事とお慶び申し上げます。平成29年度県連盟通常総会は、6月10日に日本看護連盟の榮木幹事長、県看護協会の西宮会長、そして地元三重の田村衆議院議員、島田衆議院議員のご列席のもと開催いたしました。昨年逝去された2名の会員様に黙祷をささげた後、渋谷議長・中村議長の進行により、428名の出席者をもって、審議事項も全て承認されましたことをご報告とお礼申し上げます。

6月15日の平成29年度日本看護連盟通常総会において、石田まさひろ参議院議員が第25回参議院議員選挙の組織内候補予定者と決定しました。石田議員は国会会議の間をぬって多くの会員の声を聞き、政策に繋げ活路を見いだせるよう、全国訪問のご予定です。私達も、待っているだけではなく、皆様の協力を得て、現在地より高い位置に送り出すための努力をします。

たかがい恵美子参議院議員・あべ俊子衆議院議員・木村やよい衆議院議員も、驚くほど精力的に仕事をされてみえます。「徹夜の議会時には、看護職時代の夜勤を思い出してがんばれる」と、たかがい恵美子参議院議員は仰ってみえました。看護職の課題は看護職の国会議員だからこそ、持続した追求ができ、国会議員が看護職であるという事を表現される事が、看護職の社会的評価を高める事になります。私達は4人しかいない看護の組織代表議員を大切に守り、更なる飛躍に向けてしっかり応援しなければなりません。

現場の声や要望も、県議会議員や国会議員に、言い続ける事によって、必ず議会で代弁していただける事もわかりました。昨年、県看護協会と共に、自由民主党三重県支部連合会を通じて提出した9項目の要望事項のうち、特に『夜間看護手当の増額』については、看護職の国会議員は当然の事、地元の国会議員の支援が厚く、現国会でも議論が深まっています。又、日本看護連盟からの、地元国会議員への様々な依頼に対しても、川崎衆議院議員、田村衆議院議員、三ツ矢衆議院議員、島田衆議院議員、吉川参議院議員の国会事務所に連絡すると、迅速かつ的確に対応していただけるのも、会員の皆様の応援の賜物と感謝申し上げます。

連盟は、看護協会と共に、明日の看護職のために「ベッドサイドから、政治を変える！」のスローガンのもと、看護職の思いが叶えられるよう行動してまいりますので、会員の皆様には、一層のご理解ご協力を何卒よろしく申し上げます。

## 日本看護連盟会長 草間朋子



看護連盟の最も重要な役割・仕事は、看護政策を実現することです。

看護現場の抱えている課題を一つひとつ制度化し、法制化していくことが看護政策を実現することです。

会員のみなさまのご支援と協力により、看護を代表する国会議員の先生方を国政の場に送り続け、看護政策の実現に向けてご尽力していただいているところです。しかし、看護政策の成立過程を考えますと、現在、活躍していただいている4人の看護職の国会議員の先生方の力だけではどうにもなりません。看護を支援していただける多くの国会議員の先生方を看護の味方にし、協力していただくことが不可欠です。三重県は、自民党の看護問題小員会の委員長であり、看護に造詣が深い田村憲久先生のご出身県です。本年4月に、13の医療関係団体からなる「田村先生を囲む勉強会」が組織され、年3回程度の勉強会が予定されております。日本看護連盟も、この勉強会に参加し、前厚労大臣の立場から看護に係るご支援をお願いしておりますことを会員のみなさまにお伝えします。

## 三重県看護協会会長 西宮勝子



三重県看護協会は、今年40周年を迎え、先日の定時総会の後に設立40周年記念式典を開催致しました。これは、昭和52年の「社団法人三重県看護協会」設立から数えています。その前進は、昭和22年に「日本助産婦、看護婦、保健婦協会三重県支部」として始まり、昭和26年に「日本看護協会三重県支部」と名称変更され、それから26年後の昭和52年に「社団法人三重県看護協会」として設立されています。その後、平成24年に公益社団法人に移行されました。ですから、初めから数えますと70周年ということになります。多くの先輩の方々のご努力のおかげで、力が結集され現在に至っています。

医療提供体制が大きく変化していく今、看護職には大きな期待が寄せられています。しかし、看護職はまだまだ不足していますが、反面仕事量はますます増えてきています。看護協会では誇りを持って働き続けられるような環境を整備し、離職する看護職を減らしていく取り組みを行っています。また、素晴らしい魅力的な看護の仕事のアピールして、少子化の中でも看護職を目指す人が増えていくよう活動しています。今後も看護連盟の皆さんと共に課題解決に向けて取り組んでいきたいと思っております。

## 参議院議員 石田まさひろ



三重県看護連盟の皆さま、日頃よりお力添えを賜りありがとうございます。

先般開催されました日本看護連盟通常総会において、組織内候補予定者としての決定をいただきました。看護政策推進の使命をいただいたものと、身の引き締まる思いであります。皆さまのお力で、参議院議員の重責をいただいてから四年が経過し、看護師免許保持者の届出制の新設、認知症ケア加算の新設、民間看護職紹介会社の適正化など、看護の現場をよりよくするための活動を積み上げてまいりました。

これからも、職場環境の改善、基礎教育と卒後教育の連続的充実、看護の社会的地位の向上など力強く推進し、全ての看護職が「今日もよい看護ができてよかった!」と実感できるよう全力を尽くします。

まずは、全国津々浦々を訪問させていただき、現場の声を国政に届けてまいります。皆様の職場に参りました折は、ぜひお声をお聞かせください。

## 参議院議員 たかがい恵美子



向暑の候、三重県看護連盟の皆さまには、ますますご清祥のことと拝察いたします。私は、引き続き自民党女性局長として、女性版ふるさと対話集会の全国展開を推進する他、2月末に開始されたプレミアム・フライデーを活用し新たに政治女子のための講座「プレミアムウィメンズクラブ」を創設させていただきました。また1月に創設した「女性医療職エンパワメント推進議連(超党派)」においては、医療職特有の働き方に着目し医療従事者の心身社会的な問題に対処できる労働環境を実現すべく着々と取り組みを進めています。これからも、“人の生きる力を守る看護のパワーを、社会の生きる力を創り出す政治に活かす”この精神で、皆さまと共に、がんばります。

## 衆議院議員 あべ俊子



三重県看護連盟の皆さま、いつも温かいご支援をありがとうございます。

昨年末より自民党内で議論を重ねてまいりました、一億総活躍社会の構築に向けた提言がまとまり、6月には安倍晋三総理大臣、加藤勝信一億総活躍担当大臣へ申し入れを行いました。あべが座長を務めました女性活躍・子育て・幼児教育プロジェクトチームからも様々な提案を行いました。保活や病児保育などの子育てサポートの充実はもとより、男性の家事参画の推進、介護や看護師夜勤手当拡充の検討、さらにはDV・性暴力被害対応のための議員立法を含めた党内検討を進めることなど、女性がより活躍できる社会を創っていくために早急に取り組んでいきたい提案が幅広く盛り込まれております。

今後も皆さまの現場の声をお聞かせいただきながら、さまざまな課題を少しでも改善・解決の方向へ動かしていけることを目指し、精一杯取り組んでまいります。

引き続きご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 衆議院議員 木村やよい



三重県看護連盟の皆さま、こんにちは。

6月18日、150日間に及ぶ第193通常国会が閉会。60以上の法案が成立しました。

初当選から2年、看護の視点を軸にさまざまな法案に関わってまいりました。特別養子縁組のあっせんに関する法案では、議員立法作成・成立の過程を勉強させていただき、障がい者総合支援法の改正では、医療的ケア児に対する教育・医療・福祉の連携した支援体制の構築に力を注ぎました。

昨年3月には待機児童問題等対策特命チームの座長に就任。ここまで来られたのも、看護職の皆さまのご指導があってこそです。これからも現場の最前線にいただいたご意見やご要望を政策に反映し、光の当たaraぬところにあたたかな光を当てていく政治家でありたいと思っています。

最後になりましたが、京都三区(京都市伏見区、長岡京市、向日市、大山崎町)にご家族・親類・ご友人等がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介をお願いいたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 新入会員研修

平成28年10月15日(土) 三重県総合文化センター 多目的ホール 194名参加

Reporter



松阪第二支部  
五十嵐樹莉亜  
松阪中央総合病院

講義

### 県政と女性 キャリアアップ～自分の可能性を切り開く～

講師: 大久保孝栄 三重県議会議員  
講師: 河俣あゆみ氏



大久保孝栄 三重県議会議員



河俣あゆみ氏

今回、新入会員研修会に参加させて頂きました。大久保孝栄氏の講演を聞いていく中で、臨床で働く看護師のために日々頑張ってくださっている方の存在を知りました。自分たちの理想の看護を患者様に提供するためには人材確保が必要であり、処遇の改善や夜勤手当の増額など様々な政策の改善が必要となってきます。その為には、臨床で働く私たちが現場の声を届けていくことが必要であると感じました。患者様に理想の看護を提供していくためにも、今後は生活の中に政治を感じながら、自分たちの声を届けていけるように頑張っていきたいです。

河俣あゆみ氏の講演では自分のキャリアについて考えるとてもいい機会になりました。キャリアとは、実力のある人という印象が強く、師長や主任のように出世した人を指すのだと思っていました。しかし、キャリアとは結果ではなく、体験が連続する過程であるということを知りました。自分のライフスタイルや環境を考慮して仕事の引き受け方を考えていき自分なりのキャリアデザインをしておくことが大切であると学びました。今後は自分自身のキャリアデザインをし、看護師としてだけでなく、人としても成長していきたいと思います。

## ブロック別看護管理者等政策セミナー

平成28年11月18日(金)・11月19日(土) 津市中央公民館 43名参加 主催: 日本看護連盟 東海北陸ブロック協議会

講義

### 政治の流れ・制度の流れ

講師: 清水嘉与子 日本看護連盟顧問 ほか

セミナーの目的は、「看護管理者、教育者の政治への関心を高めることと政策実現能力の育成」です。形態としては、講義+グループワークでした。

講義は清水嘉与子前日本看護連盟会長の「政治の流れ・制度の流れ」、田村憲久衆議院議員の「政策策定と決定のプロセス」など(全部で5講義)、いずれも国や地方レベルにおける最新の政治・政策に関するテーマであり、看護管理者が熟知しておきたいものばかりでした。これらの講義を聴いて、最後に「看護政策実現に向けて」というテーマでグループワークが行われました。

先ず第1に本セミナーの目的を果たすには、各施設の看護部長、あるいはそれに準ずるトップマネージャーが政策実現の仕組みを正しく理解し、足並みを揃えることです。その方針が末端まで届き、全国の150万を超える就業看護師が同じ志を持てば強大な力となります。そうなれば、当然長年の課題である看護協会と看護連盟の会員格差も縮小していくものと思われます。

第2に看護学生期間における政治・政策教育を強化すべきということです。そのためには、同時に教員の政治への関心を高めることも必要です。

第3は外部への働きかけとして、議員との関係作りが不可欠であると感じ

ました。これは、いきなり国レベルというのではなく、地方レベル(地元)の議員との絆を地道に深めていくことが望まれます。

以上を踏まえ、今後の支部活動に活かしていきたいと考えています。

Reporter

津第二支部  
横山悦春  
藤田保健衛生大学  
七栗記念病院



参加者

施設名

役職

静岡 5名	独) 地域医療機能推進機構 桜ヶ丘病院	総看護師長
	地独) 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	看護部長
	袋井市立聖隷袋井市民病院	総看護師長
	医療法人社団 盛翔会 浜松北病院	看護部長
	御殿場看護学校	副校長
愛知 7名	藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院	看護部長
	大同病院	看護部長
	常滑市民病院	看護局長
	僧行会 リハビリテーション病院	看護部長
	厚生連 海南病院	看護部長
岐阜 6名	厚生連 豊田厚生病院	看護部長
	豊川市民病院	看護局長
	中津川市民病院	看護部長
	J A 岐阜厚生連 西美濃厚生病院	看護部長
	J A 岐阜厚生連 中濃厚生病院	看護部長
富山 6名	独立行政法人 地域医療機能推進機構 可児とうのう病院	看護部長
	社会医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院	看護部長
	岐阜県看護連盟	連盟 財政部長
	市立砺波総合病院	看護部長
	高岡市民病院	看護科長
石川 6名	富山赤十字病院	副看護部長
	あさひ総合病院	副看護部長
	高岡市医師会看護専門学校	副学校長
	不二越病院	看護部長
	小松ソフィア病院	看護部長
福井 7名	市立輪島病院	看護部長
	小池病院	看護部長
	桜ヶ丘病院	副看護部長
	金沢市立病院	副看護部長
	石川県看護連盟	連盟 幹事長
三重 6名	医) 健康会 嶋田病院	看護部長
	市立敦賀病院	看護部長
	公立小浜病院	副看護部長
	医) 博俊会 春江病院	看護師長
	福井リハビリテーション病院	総看護師長
伊勢 6名	福井愛育病院	看護師長
	福井県立大学 看護福祉学部看護学科	学科長・教授
	いなべ総合病院	看護部長
	藤田保健衛生大学七栗記念病院	副看護部長
	遠山病院	看護部長
伊勢 6名	三重大学医学部看護学科	学科長・教授
	松阪看護専門学校	副学校長
	伊勢赤十字病院	副看護部長

## リーダー研修

平成28年11月29日(火) 三重県総合文化センター 大研修室 98名参加

Reporter

津第二支部  
高橋こずえ  
榊原温泉病院



講義

### 楽しく学ぼう連盟活動ー連盟の意義についてー

講師:草間朋子 日本看護連盟会長

日本看護連盟の草間朋子会長より「楽しく学ぼう連盟活動ー連盟の意義についてー」を興味深く聞かせていただいた。何故、連盟活動が必要なのか?それは、看護が抱える問題を解決するためである。

看護に係る課題は看護職自らの手で、力で、対象者そして看護職の安心・安全を確保するためには制度化・法制化が必要である。そのためには、政治の力、行政の力が必要で、看護連盟の活動がある。

講義の中で、看護に関連した法律についてどれだけ理解しているかとあった。労働基準法の中で、国の定める専門職の中に、看護職は入っていないと聞いた。私たちは専門職と自ら言っているが、法律上、専門職に入っていないことに驚いた。看護連盟の活動で、発言できるところに人を送り込むことが大切で、私達が看護連盟の活動を理解し、やらなければ変わらないと思った。講義後、「現場の声を政策にどうつなげるか」をテーマにワークショップを行った。政策を実現するためには、高い得票数で当選することが大切で、一票の重みを伝えていく必要がある。

看護連盟の活動をもっと知ってもらうことが大切であり、看護連盟の研修会やDVDを活用し、看護連盟の思いをみんなに伝えていくことが必要であると思いました。



草間朋子日本看護連盟会長

## 看護管理者トップセミナー

平成28年12月17日(土) 三重県総合文化センター 視聴堂室 131名参加

Reporter

津第五支部  
小瀬古隆  
三重大学医学部附属病院



講義

### 看護師は専門職か? 他

講師:石田まさひろ 参議院議員



今回のトップセミナーでは、石田まさひろ参議院議員が講師として招かれ、「看護師は専門職か?」というテーマで御講義いただきました。

「看護師は専門職か?」石田先生は「専門職なら、仕事はわくわくしてするもの」。この話を聴いて、思わずうなずきました。石田議員は、私たちは何げなく看護師を専門職だと思いついていますが、実際は、医師の指示なくしては医薬品も診療機械も使えません。それで果たして看護師は専門職と言えるのか、看護師が専門職になるためには、責任と覚悟が必要だと投げかけられました。法律は私たちを守ってくれますが、それに甘んじることなく、専門職として責任と覚悟をもたなければならない。専門職とは何か、私は果たして専門職として活動しているのか、あらためて自問自答しました。

また、近未来の医療では、技術革新によってバイタルチェックも記録もすべてAIやロボットなどテクノロジーに置き換わるかもしれないという話がありました。その時、看護に残された仕事は、石田先生の言われるとおり、ベッドサイドにある患者さんとの関わりにあると思います。私たちが専門職としてわくわくして看護をしていくためには、ベッドサイドにある看護の本質とは何かを、いつも問うていかなければならないと思いました。

石田まさひろ参議院議員

## 看護管理者研修

平成29年2月25日(土) 三重県総合文化センター 多目的ホール 168名参加

Reporter



津第一支部  
土橋千恵  
武内病院

講義

### マグネット三重県へ

講師:鈴木英敬 三重県知事



鈴木英敬 三重県知事

現在私は9歳と4歳の子どもの子育て中であり、鈴木知事の講演の中でも三重県の子育て支援の内容をとても興味深く拝聴させて頂きました。核家族で共働きである私も、職場・家族の協力があり、常勤としてなんとか仕事をさせて頂いていますが、これまでに何度となく離職も考えました。なぜなら、育児休業、短時間勤務などの制度があっても周囲の理解、支援がないと利用し仕事を継続することは難しい現状があるからです。夜勤のある看護職は身体的精神的な負担も多く、家事・育児・仕事を両立する事は、簡単なことではありません。又、子供の急病等により欠勤も多々あり、その都度迷惑をかけてしまっているという心の負担と、周囲からの心ない言葉に傷つき、心身共に疲弊した事もあります。そういう経験をした私達が、今後子育て環境を改善していくために自分達にできる事を自分自身が働きかけていかなければならないことを改めて感じる機会になりました。

講義

### 若年性認知症を生き切った夫と歩んだ日々 大切なものは……

講師:多賀洋子氏

アルツハイマー型認知症の夫を2002年から2011年までの9年間介護した多賀洋子氏の講演を聴いて、私は沢山の学びを得た。私たち医療者は、認知症の勉強をし、知識として習得した上で、どういった関わりをしたら良いか考え、毎日の看護を実践している。しかし、私達、看護者の関わりが本当に適切であったか、なかなか評価できないのが認知症看護の難しい点であると思う。そういう意味からも、今回、9年間連れ添った家族からの、生の体験談を聴いたことで、認知症としての実際の状況や、本人や家族の本当の思いなどを知る良い機会となった。

多賀氏の話で印象的であったのが、『認知症になった初期の3年間は暗黒の毎日でした。これから余生を楽しみたいと思っていたのに、私の方が毎日イライラして口喧嘩ばかりでした。ある時、夫が包丁をもって、「もう嫌になった。死にたい。生きている喜びがない」と泣き叫びました。夫の涙をみて、初めてそれまで自分の事しか考えていなかったことを反省し、夫に対し、優しく接するようにしました。そうすると、不思議に夫の態度が変わっていききました。認知症になっても感情は残っています。自分が変われば、相手も変わることを知りました。夫に今まで一番良かったことは何か?と聞いたら、あなたと結婚したことだと言ってくれたことが嬉しかったです。夫は最後まで自分らしく生きぬいてくれました』と言われていました。認知症になっても感情面や人格は残っているとされる。私はこの話を聞いて、看護師として臨床の場においても関係することだと思った。人間関係において、コミュニケーション不足で、誤解をまねいたり、トラブルになることもある。患者に接する際、一人一人の人格を尊重し、思いをしっかり傾聴していく姿勢が大切になってくる。

特に認知症のある患者は、相手の表情やトーンに敏感である。口調がきつかったりすると、不安が強くなり、混乱をまねくことも多い。高齢化社会を迎え、認知症患者はますます増加の傾向である。今回、多賀氏の基調講演を受けて、私達、看護師は認知症の理解をし、適切な関わりをしていかなければいけないということを学んだ。

Reporter



四日市第二支部  
渡邊ひろ子  
市立四日市病院



多賀洋子氏

# 平成29年度 三重県看護連盟通常総会

平成29年6月10日(土) 三重県総合文化センター 多目的ホール  
428名参加

去る、6月10日(土)三重県総合文化センター多目的ホールにおいて、平成29年度三重県看護連盟通常総会が開催された。出席者は、428名、委任状4785名、合計5213名で三重県看護連盟西川利恵会長の挨拶をはじめ、田村憲久衆議院議員、島田佳和衆議院議員、日本看護連盟榮木実枝幹事長、三重県看護協会西宮勝子会長など来賓の方々が挨拶され、プログラムに沿って滞りなく終了した。

その後15時より、平成29年度三重県看護連盟会員研修会を開催し、「自分らしさを見失わないために」をテーマに日本医科大学医学教育センター健診医療センター特任教授海原純子先生に講演をしていただいた。先生は医学博士、エッセイスト、ジャズ歌手でもあり、「医者が歌を歌うと信用されませんが時々ライブもします。」と話された。また、いい人を演じ続けて、自分らしさを抑圧し続けると以下の3つの兆候が出現すると話された。

それは、①うつ状態に陥る ②心身症の兆候 ③感情の爆発です。医療職の人は、ストレスフルで多く来院される。先生は、「どうせ私なんかと言うレッテル張りはやめよう」と提言された。なぜなら、自分らしさが見つからなくなるから。「先読み志向はやめてプロセスを楽しみ、いろんなことをして、いろんな人に合うと幅が広がる」とおっしゃっていました。今回の講演での内容は、今後の看護連盟活動に必ず活かせると感じた。いろいろな人に出逢って、多くの方に看護連盟の良い所を語っていきたくないと強く感じた。

Reporter

監事・OB会支部長  
(兼務)

中井タミ子



海原純子氏



田村憲久衆議院議員



島田佳和衆議院議員



榮木実枝日本看護連盟幹事長



西宮勝子三重県看護協会会長



三重県看護連盟のTシャツ

- ・Tシャツの緑は三重県の色
- ・ダブルハートは看護協会と看護連盟を表している
- ・デザインは三重県看護連盟青年部

# 平成29年度 三重県看護連盟 活動計画

## 重点方針

① 力強い組織の創成

② 成熟・自律した行動



目的	目標	方針	活動	評価指標
組織力の強化・拡大	1 日本看護連盟との連携強化	1) 日本看護連盟との情報の共有化 2) 県看護連盟の主体的活動	1)-1 日本看護連盟の情報を会員へ発信し、県連盟の情報を日本看護連盟に発信する。 2)-1 各種会議・委員会の活性化を図る。	目標管理に基づいた実践ができたかどうか
	2 連盟活動の周知徹底	1) 連盟活動のPR 2) 活発な情報交換 3) 自律した会員の育成	1)-1 機関紙しるちどりを年3回発行する。 -2 県連盟のホームページをアピールする。 -3 日本看護連盟の広報誌・ホームページを活用する -4 会員ハンドブックを研修会で使用し活用する。 -5 各種看護連盟グッズを活用する。 -6 研修のあり方を検討する。 2)-1 効果的・効率的で親しみやすい研修を企画し実施する。 -2 看護職国会議員のビデオメッセージを活用する。 -3 国政における看護職議員の活動を、各研修会や委員会等で報告する。 -4 効果的な支部研修の開催を支援する。 3)-1 看護協会の管理者研修に「看護と政策」の講義を入れるように働きかける。 -2 未入会者及び連盟会員へ働きかけ、連盟活動の理解を深める。	ホームページのアクセス数の増 研修の参加率の増
	3 会員数の増加	1) 平成29年度の増員目標数の設定 2) 看護協会・看護連盟同時入会の促進 3) 退会者の防止 4) 学生会員の確保	1)-1 平成29年度の会員獲得目標数を5,900人以上とし、看護協会会員比率60%以上を獲得する。 -2 非常勤看護職や訪問看護ステーション看護職に連盟加入を働きかける。 2)-1 看護協会役員に連盟加入を働きかける。 -2 看護連盟未加入者の多い施設の看護部長との交流の機会を作る。 3)-1 産休・育休者に連盟会員の継続を働きかける。 4)-1 看護基礎教育の教育内容に「看護政策」を取り入れるよう働きかける。 -2 学生会員数30人を目標とする。 -3 看護大学・看護専門学校教員への入会を働きかける。	県連盟会員数が5,900人以上獲得できたか 県看護協会会員数の県連盟への入会率60%達成の可否
	4 三重県看護連盟の効率的運営	1) 三重県看護連盟規約・細則の見直し 2) 財政の健全化と適正化	1)-1 規約・細則等を見直し、平成30年度の総会で規約・細則改正の提案に向けての準備をする。 2)-1 経費削減に努める。	規約改正の提案ができる 適正な収支バランスができたかどうか
	5 ブロック協議会の活動強化・促進	1) ブロック協議会の活性化	1)-1 東海北陸ブロック協議会の情報交換によって学ぶとともに連携強化する。 -2 ブロック別看護管理者等政策セミナーを継続する。 -3 ブロック内でのポリナビワークショップを継続する。	開催回数の評価及び会議が実施できたか
	6 支部組織の活動の強化・促進	1) 支部役員の役割の明確化と徹底 2) 支部役員・施設連絡員(リーダー)の意識強化 3) 各支部会員のモチベーションの強化	1)-1 支部役員の役割等を明文化する。 2)-1 各部署で役割を発揮できる施設連絡員(リーダー)を育成する。 3)-1 国会議員による研修会等を開催し、国会議員との交流を深める。	支部役員の役割の明文化ができたか
	7 若手会員育成	1) 若手会員の活用の促進 2) 青年部の役割の検討 3) ポリナビの活動強化	1)-1 役員・委員会等に若手会員を登用する。 -2 見守りながら自主・自立に向けて支援する。 2)-1 青年部の役割と位置づけを明確にするために規約を作成する。 -2 政治塾・青年部・青年局への参加を支援する。 3)-1 県ポリナビワークショップを開催する。 -2 ブロック協議会内・外の青年部の交流を促進する。 -3 機関紙プチアンジェ(Petit Ange News)を年3回発行する	青年部委員会の役割の明文化ができたか
	8 三重県看護協会及びその他の組織との連携・協働	1) 県看護協会との連携 2) 県精神科看護協会との交流の促進 3) 県助産師会との交流の促進 4) 友好団体との交流の促進 5) 看護系教育機関との交流の促進	1)-1 県協会と県連盟の会長・役員と合同会議年3回実施し話し合いの場を設ける。 -2 県協会総会・県連盟総会に協会・連盟の会長が相互に参加する。 2)-1 県精神科看護協会との交流の機会を作る。 3)-1 県助産師会との交流の機会を作る。 4)-1 友好団体、友好企業との交流の機会を作る。 5)-1 看護系教育機関への訪問の機会を作り、連盟活動について広報活動を行う。	訪問件数
	9 現場の課題への対応	1) 現場の声を活用し意見・提言を行う	1)-1 日本看護連盟ホームページ等を活用し、現場の声を発信するよう促す。 -2 機関紙しるちどりに各研修会後のアンケート結果を掲載する。 -3 現場の声から課題を明確にし、検討し地元の議員に提言する。	

政治力の強化	1 看護政策の実現	1) 県連盟の政治力の強化 2) 看護政策立案に向けて県協会との連携	1)-1 地元の国会議員の政策説明会等に参加し連携を密にする。 -2 県看護問題対策議員連盟と交流の機会を持ち、情報交換を行う。 -3 地元政治塾の周知と希望者への支援をする。 2)-1 要望書は、県協会と綿密な協議を行い作成し、議員へ提出する。	
	2 看護職国会議員の擁立支援	1) 4人の看護職国会議員の確保 2) 第25回参議院議員選挙に向けて候補予定者のアピール	1)-1 4人の国会議員の活動状況及び知名度を周知する。 -2 岡山県看護連盟・京都府看護連盟へ協力を要請する。 -3 ホームページ等を活用して各議員の活動を周知する。 2)-1 第25回参議院議員選挙に向けて候補予定者が決定されたら活動を開始する。 -2 第25回参議院議員選挙に向けた選挙体制を整備する。 -3 第25回参議院議員選挙候補予定者の名前を周知する。	4人の議員の確保 知名度のUP
	3 看護を理解する国会議員の確保と支援	1) 県看護問題対策議員連盟との連携強化 2) 県選出の国会議員との連携強化 3) 県看護連盟の政治力の強化	1)-1 県看護問題対策議員連盟の入会議員との交流の場を持つ。 -2 地元国会議員に看護政策の必要性をアピールする。 -3 県の看護政策に理解を示す国会議員を支援する体制を強化する。 2)-1 県連盟と国会議員との交流の場を持つ。 3)-1 政権与党の女性局へ協力する。 -2 政権与党の青年局へ協力する。	
	4 地方行政への影響力の強化	1) 地方議員への積極的活動支援	1)-1 地元議員の活動を積極的に支援し、連盟の活動の理解、行政への働きかけへとつなげる。 -2 地方議員の行事等に積極的に参加し看護連盟をアピールする	参加数
	5 地方議員の擁立と支援	1) 地方議員候補者の発掘と育成 2) 地方議員との連携強化	1)-1 県議・市議等立候補者への支援を行う。 2)-1 地方議員の活動に積極的に参加する。 -2 地方議員の擁立を検討する。	

会員の福祉の充実	1 災害への対応	1) 災害発生地への支援	1)-1 日本看護連盟からの情報に基づき、被災地の現状を関係団体へ伝達し支援の協力を要請する。 -2 規約に基づき対応する。	復興支援の継続
	2 福利厚生への対応	1) 県看護連盟内規に基づく対応	1)-1 名誉会員・叙勲等受賞者への対応を行う。 -2 物故者への対応をする。 -3 慶弔等への対応をする。 -4 災害見舞規約に基づき対応する。	件数
	3 諸問題への対応	1) 会員の安全の保証	1)-1 コンプライアンスに基づく政治活動、選挙運動のための情報交換を行う。 -2 諸般の疑問・問題には日本看護連盟と相談し速やかに解決する。 -3 傷害保険に加入し事故に対応する。	処理件数



# 平成29年度 日本看護連盟通常総会

平成29年6月15日(木) 東京プリンスホテル  
1,877名参加

Reporter

幹事  
小牧富美子



平成29年度日本看護連盟通常総会が、6月15日東京プリンスホテルにて開催された。1877名が出席され当県から25名の代議員が参加した。審議事項は全て承認され、当県の橋本顧問が日本看護連盟の名誉会員となられた。又、来る第25回参議院議員選挙には、石田まさひろ参議院議員が候補予定者に決定した。

総会終了後には、たかがい恵美子参議院議員・石田まさひろ参議院議員・木村やよい衆議院議員の国政報告会があり、あべ俊子衆議院議員は「政治を変えるのは各人であり、政治家を、使って、動かし、医療・介護・福祉を自分達の手で変えていこう」と話された。

祝 橋本顧問



石田まさひろ参議院議員



たかがい恵美子参議院議員



あべ俊子衆議院議員



木村やよい衆議院議員

## 国会見学に行きました 平成29年6月16日(金) 20名参加

ホテル→参議院会館→国会見学→  
参議院会館会議室にて5人の地元国会議員の国政報告と挨拶→  
たかがい恵美子参議院議員事務所・石田まさひろ参議院議員事務所訪問→  
日本看護協会・日本看護連盟見学

通常国会の会期末、徹夜国会の後、衆議院議員川崎二郎氏、三ツ矢憲生氏、田村のりひさ氏、島田佳和氏、参議院議員吉川ゆうみ氏の熱い思いに食事を忘れる会員もいた。たかがい事務所では、偶然たかがい議員もみえ、一緒に記念撮影をした。石田事務所では石田議員は不在の為、パネルと一緒に記念撮影をした。



表参道にある協会ビルは、地下2階地上8階の素晴らしい建物であった。日本看護連盟の事務所は6階で、ちょうど石田議員のポスターが出来上がっていた。

表参道で解散し、看護連盟会員たちはそれぞれ個人行動でお買い物や観光を楽しんだのでは。

日本看護協会ビル

Reporter 久保珠子



## 平成29年度 国ならびに県の政策・予算に関する要望書

平成28年7月25日(月) 自由民主党三重県支部連合会  
出席者: 県議会議員、三重県健康福祉部担当者、看護協会役員、看護連盟役員

Conference  
Report



看護連盟は、夜勤のできる看護師不足で困っている看護部長の切実な悩みを要望事項にあげ、夜勤手当の増額を訴えた。全国的にも夜勤手当が三重県は低いことがわかった。平成29年3月13日に、三重県選出の参議院議員吉川ゆうみ議員より国会予算委員会で地方の看護職員確保のための処遇改善あるいは研修を受けやすくするための取り組み等を質問された。現場の声が国会に届いたことが、連盟会員として心強かった。また、ナースセンターで相談の多い働きたくても子供が預けられない、保育所、病児保育、学童保育等、保育内容・質の向上の要望を出した。

## 平成28年度 第1回 三重県看護問題対策議員連盟との合同会議

平成29年3月23日(木) 三重県総合文化センター 中会議室  
出席者: 県議会議員9名、三重県看護連盟役員・支部長25名

合同会議の後、四日市、鈴鹿の県議会議員が地区支部に参加し、もっと現場の声を知りたいと施設訪問を希望された。また保育園に関しては各地区の県議会議員が、現状を把握して対処する前向きな姿勢が見られた。もっと現場の声を届けましょう!



## 平成29年度 第1回 三重県看護問題対策議員連盟との合同会議

平成29年6月30日(木) 三重県総合文化センター 大会議室  
出席者: 県議会議員20名、三重県看護連盟役員・支部長・委員会32名

自民党県議会議員は全員出席され、今年度、県連の役員交代の挨拶の後連盟からは、今年度の国・県への要望事項の概要を伝えた。会場の別室で開催されていた、広報部会と青年部会の委員達も合流し、議員と紹介しあった。県連での職域支部と支部組織・政治塾・三看護連の在り方等についても討議した。



## 平成28年度 第4回 三重県看護連盟・三重県看護協会合同会議

平成29年3月28日(火) 三重県看護協会会議室  
出席者: 三重県看護連盟役員5名、三重県看護協会役員5名

看護協会からは、①平成29年度三重県看護協会活動、②総会及び設立40周年記念式典、③三重看護研究会。看護連盟からは、④事業経過報告、⑤平成29年度看護連盟活動計画(案)、⑥平成30年度県への要望事項、⑦通常総会等のことを審議しました。

次回は県への要望事項に関して話し合います。



memo

### 1959<sub>S34</sub> 看護連盟誕生

看護協会の目的を達成するための  
団体としての結成

陳情や嘆願の繰返しでは看護問題の解決につながらない。  
看護職の代表を国政の場に送り、協会と連盟が一体となって  
組織的な支援をしていくことを決定。

友情、信頼、団結を誓った。



# Pen Relay

ペンリレー



今回は  
名張市立病院  
看護部長  
小野裕子さん  
です



Q.施設のアピールポイントを一言でお願いします。

A 開院して20周年を迎えました。やっと成人!!  
これからも患者様のニーズに応えられるように、  
変化を恐れず、看護の力を発揮していきます。

Q.長く働き続けられた秘訣は何ですか?

A 「看護が好き」という気持ちと、  
「惜しみない家族の協力」があったからです。

Q.趣味は?

A 旅行:知らない土地でのワクワク感が好きです。  
それと年1~2回ですが山登りです。  
3000m級の山はほぼ制覇しています。

Q.最近読んだおすすめの本は?

A 池井戸潤氏の作品が好きです。  
「七つの会議」「下町ロケット」「鉄の骨」がお勧めです。  
管理者として正義と情熱と真摯さ等、色々考えさせられます。



Q.好きなことばは?

A 「和願愛語」  
和やかな笑顔と思いやりのある話し方で  
人に接するということです。

Q.生まれ変わったら何に成りたいですか?

A やはり女性で専業主婦をやりたいです。

Q.休日はどう過ごしていますか?

A 研修や各種行事に参加していますが、  
その合間をぬっての旅行です。  
家のことは後回し、掃除や溜めたドラマの  
録画の鑑賞は休日前の夜中にやっています。



次にリレーする看護部長を紹介してください。  
上品で優しい雰囲気ですが、秘めたるパワー  
を感じる市立四日市病院の川島好子看護部  
長様を紹介させていただきます。

## 支部長交代

### 津第二支部

小堀輝美さん → 横山悦春さん(藤田保健衛生大学七栗記念病院)へ交代

津第二支部として力を入れたいこと

- ①看護協会と看護連盟に大きな差がある為、新卒者が看護協会と同時入会する事を推進する
- ②地区議員との連携強化をはかる為、事務所訪問、県議会見学、議員講演への参加を通して  
地元議員との交流を図る



横山悦春さん

### 桑名支部

山本信子さん → 前田美津子さん(ヨナハ産婦人科小児科病院)へ交代

今年度から桑名支部長をさせて頂くことになりました前田美津子です。

まだわからないことばかりですが看護の現場の声を国政に届けるために会員の皆様と共に  
協力し頑張っていきたいと思います。また、連盟の活動を看護職の方に広めていきたいと思います。



前田美津子さん

菓子博に行ってきました!!



## 第27回 全国菓子大博覧会・三重



# お伊勢さん 菓子博 2017

27th National Confectionery Exposition in Mie



祝い餅、復刻限定版

抽選で  
買えました!

ぜんぶ、お菓子でできてる。すごい!



開催期間: 2017年4月21日(金)~5月14日(日)

開催場所: 三重県営サンアリーナ及びその周辺

愛称: お伊勢さん菓子博2017 テーマ: お菓子がつなぐ「おもてなし」を世界へ



◆こんなお悩みはありませんか？

- ・夜勤明け、体は疲労しているのになかなか眠れない。
- ・寝起きが苦手で起床時間ギリギリまで起きられない。
- ・睡眠時間は長いのに、眠りの質に満足できない。

◆睡眠セミナーを無料で開催しています

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した講師による充実したセミナーをご用意しています。

研修会や勉強会、学会でのコーヒーマスターサービスもご提供しています。

**TUK** 東洋羽毛東海販売株式会社  
〒514-0003 三重県津市桜橋 3-67-13

三重営業所 ☎ 0120-585104

～お気軽にお問い合わせください～



あなたの入会が連盟活動を支えます

# 平成29年度 看護連盟会員募集中

看護連盟は代表議員を支援し看護問題解決のために共に努力します。看護連盟は国民の健康と福祉の向上を目指し活動しています。

- 正会員** 年会費 6,500円 (本部会費 5,000円、県会費 1,500円)
- 特別会員** 年会費 6,500円 (正会員の経験を有し、未就業で現在看護協会に入会していない方)
- 賛助会員** 年会費 1口 500円 (何口でも可能です。)  
看護連盟の主旨に賛同していただける方であればどなたでも入会していただけます。
- 看護学生会員** 年会費 無料

現在会員数  
**5664名**

お問い合わせ: 三重県看護連盟事務局 TEL059-226-0862 FAX059-226-0887 E-mail:kan.ren-mie@muse.ocn.ne.jp

## 平成29年度 三重県看護連盟研修予定

平成29年8月23日(水)

### リーダー研修会

テーマ:社会を動かす看護の力 ~現場の声を届けよう!~  
講師:参議院議員 石田まさひろ

平成29年9月9日(土)

### 新入会員研修会

テーマI:看護職(看護学生を含めて)の幅広い教養のための、  
社会(特に政治等)との関わりについて  
講師:鈴鹿医療科学大学看護学部長 大西和子  
テーマII:心のメカニズム 元気 勇気 やる気  
講師:人材育成会社 HumanFreeman 代表 松葉健司

平成29年10月24日(火)

### 若手会員研修会 ポリナビワークショップin津

テーマ:未定

平成29年11月11日(土)

### 看護管理者研修会・トップセミナー

テーマI:変革時代の看護管理者がやるべきこと  
講師:NPO法人看護職キャリアサポート フリージアナースの会 会長 大島敏子  
テーマII:災害時における究極の救助活動から学ぶもの  
講師:自衛隊三重地方協力本部 幹部自衛官

ホームページもご覧ください。kanren-mie.jp

## 編集後記

今号の表紙では、御在所岳と仙ヶ岳を掲載しました。鈴鹿セブンマウンテンは、山登りをする人にとっては、おなじみの山岳コースです。又、4月~5月に三重県で開催されました「お伊勢さん菓子博2017」の紹介も行いました。行かれた方も多いいのではないのでしょうか。

今号よりしろちどりのレイアウトを少し変えています。気づいていただけましたか。今後も連盟活動の他にも、皆さまに手にとって見ていただけるしろちどりを目指してがんばります。ぜひ読んで下さいね。

広報委員(久保・磯部・西森・小西・辻原)

今号をもちまして、  
磯部委員長は  
交代となります。  
お疲れさまでした。

